

私のすすめるこの1冊

佐藤克敏（発達障害学科 教授）

『取調室の心理学』 浜田寿美男著

私が大学院時代に取り組んでいた研究は、知的障害のある人の記憶についての研究である。就職後しばらくして、大学院時代の先輩から一本の電話をもらった。電話の内容は、弁護士の研究会で知的障害のある人の記憶の特徴について話をしてもらいたいということであった。どのような研究会かと尋ねると、知的障害のある人の証言の信憑性について、裁判所に理解をもらうために、記憶の特徴について勉強したいという弁護団の研究会だとのことであった。

弁護団が関係していた事件は、水戸アカス事件といわれるものだった。刑事事件と民事事件の両方で裁判が行われ、刑事事件では本人達の証言の信憑性が疑わしいとして敗訴した後であり、民事事件としては、これから裁判が開始されることとなっていた。民事事件に臨む上で、本人たちの証言の信憑性をいかに裁判官に理解を示してもらうかということについて検討している中での研究会であった。

本書に興味をもったのは、前述したように知的障害のある人の事件に関係している弁護団から講義（その後専門的な立場からの意見書の作成にも関わることになった）を依頼された経験があったからである。本書では、心理学者である著者が刑事裁判における供述証拠の鑑定に関わった事例について、心理学者の立場から事件の真相にせまろうと試みたものである。被告の証言について、誘導尋問や迎合性、被暗示性といった観点から、事実として認識される事

柄が変わってしまう心理について言及している。取調室の中で起こっていることを心理学的に解き明かそうという側面からみて興味深い内容であり、同時に実在の事件を通した推理ものとしても興味深く読むことができるだろう。

本書の中には、知的能力に障害のある人の事件も取り上げられている。本書でとりあげられている事件は、広島港甲板長殺し事件と野田事件である。事件の詳細については、本書を読んで理解してほしい。両事件に共通して考えさせられたことには、検察官や裁判官を含む周囲の人の知的障害に対する理解の無さであり、知的に障害がある人への尋問の難しさである。特に、知的に障害がある人に、実際にはやっていないことを自分がやったと認めさせてしまうことは、聞き手側の問題である。このような事柄は、取調べという特別な場面だけでなく、日常においても起こる可能性が高い。知的障害がある人が質問に応えるという事象において、聞き手がもたらす影響がとても強いことを再認識させられるのではないだろうか。

『取調室の心理学』 浜田寿美男著
平凡社，2004年，（平凡社新書 226）
ISBN：4582852262

配置場所：開架南館1階
請求記号：327.014||H22

—お知らせ— 図書館

分室設置期間	平成 24 年 10 月 15 日(月) ～平成 25 年 2 月 15 日(金) [予定]
主な開館時間	月～金 10:00-17:00
休館日	土日祝 その他別途定める平日 * ホームページでご確認ください
利用対象者	学内者のみ
設備	視聴覚資料 *即日貸出はできません AV ブース IPC 端末

※詳しい開館日程等は、図書館ホームページ等で随時ご確認ください。

図書館分室について

10月15日(月)より、事務局棟3階大会議室に図書館分室を設置し、下記の資料・設備が利用できるようになりました。



事務局棟内 分室 開館日程表						
10:00～17:00 ■休館 (CLOSED)						
平成24年11月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	
平成24年12月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					



現在、増改築工事を行っております。
利用者の皆様にはご迷惑とご不便をおかけして大変申し訳ございません。何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

..... 文献複写料金サービスについて

改修工事のため、9月1日(土)からの書庫閉鎖により、学生の皆様にはご不便をお掛けしております。そこで、現在利用できない書庫内資料のうち、雑誌や紀要について、下記のとおり他大学への文献複写依頼にかかる料金を負担するサービスを行っています。

受付期間	2012年10月1日(月)～12月27日(木) ※ 予算の都合で終了時期が早まる場合がございます。 あらかじめご了承ください。
対象者	本学学部生・院生 (特別聴講生、科目等履修生を除く)
補助上限	期間を通じて一人あたり最大3件まで
申込条件	以下の条件を全て満たす場合には複写料金補助サービスを受けられます。 1. 文献掲載資料が“書庫内資料”かつ“雑誌または紀要”である a. 配置場所が [雑誌書庫 和雑誌], [雑誌書庫 2F 洋雑誌], [雑誌書庫 2F 大学紀要等], [雑誌書庫 2F 紀要等] のいずれかである b. 該当巻号を所蔵している 2. 研究室に同一の資料を所蔵していない もしくは所蔵しているが利用できなかった 3. 速達での依頼ではない

(注意) ※ 必ず本学 OPAC でご確認ください。

※ 現物貸借は対象外です。

※ 図書に対する複写は対象外です。

※ 通常の複写同様、特集は個々の論文を1件とみなします。

※ Web 上で全文が公開されている場合は、そちらをご案内いたします。

※ 既に受け付けた申込に対して、補助サービスへの変更を行うことはできません。

..... 増改築工事に伴う北館の閉鎖および資料等の利用制限について

現在、改修工事のため北館を閉鎖し、一部資料・設備を移動させています。これに伴い、北館の設備・資料は下記のとおりとなります。利用者の皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

◆現在南館で利用できる資料

※OPAC上の配置場所は変更されていません。ご注意ください。

種別	資料詳細	配架場所
コレクションの森	知財 GP コレクションの森・エネルギーコレクションの森 ・ライフスキルコレクションの森	南館 1F
新書 A	岩波ブックレット・岩波グラフィックス	南館 1F
	岩波新書・東洋文庫・クセジュ・NHK ブックス・岩波ジュニア 新書・講談社現代新書・中公新書・ブルーバックス	南館 2F
文庫 A	岩波文庫・岩波同時代ライブラリー・岩波現代文庫	南館 2F
新着雑誌	約 1 年分の新着和洋雑誌・平成 24 年 9 月以降受入の紀要	南館 2F

※その他、上記以外の資料で北館閉鎖後に返却された資料も、一部南館 1F に配架しています。

◆12月17日(月)より利用できる資料(予定)

種別	資料詳細	配架場所
新書 B	国土新書・明治図書新書・人物叢書・有斐閣選書・新潮選書	後日お知らせ いたします
文庫 B	新潮文庫・カラーブックス・カラーガイド・筑摩文庫 ・評論社文庫・講談社学術文庫・俳句文庫	

◆現在分室で利用できる資料・設備(学内者のみ) → 詳細は前ページ
視聴覚資料・AVブース・IPC端末

◆リニューアルオープン以降利用できる資料・設備
日下部文庫・軽読書・視聴覚室および視聴覚室内 AV 機器

—お知らせ—
教育資料館まなびの森ミュージアム

本学も、京都・大学ミュージアム
連携に参加し出品しています！

※詳細はHPをご覧ください。

<http://univ-museum-kyoto.com/>

(京都・大学ミュージアム連携)

●京都・大学ミュージアム連携合同展覧会

「大学は宝箱！—京の大学ミュージアム収藏品展」

会期：10月3日(水)～11月25日(日)

会場：京都大学総合博物館

開館時間：9時半～16時半(入館は16時まで)

休館日：月曜日・火曜日(平日・祝日にかかわらず)

入館料：一般 400 円/大学生・大学院生は無料

●秋季企画展「京都・伏見の戦争と師範学校」

会期：11月10日(土)～12月7日(金)

会場：教育資料館まなびの森ミュージアム

開館時間：13時半～17時

休館日：祝日・火曜日・木曜日・土曜日(10日のみ開館)

入館料：無料

今回の執筆者

角田 豊(大学院連合教職実践研究科 教授)

幼稚園における特別支援教育と間主観性 — 自閉傾向をもつ幼児に対する保育者の橋渡し機能—

角田 豊・福本 久美子(学校法人みなと学園)

京都教育大学紀要, 2012, No.120, pp.11-27.

最近の学校では「特別支援教育」への認識が深まり、発達障がいを抱える一人ひとりの子どものニーズに応じた支援をする流れになってきています。もちろん、現実には個々の学校・教師によって、その受けとめ方や理解の程度は様々で、子どもや家庭と一緒にあって取り組みがなされている場合もあれば、なかなか十分な関わりがされにくい場合もあります。幼稚園においても「特別支援教育」の重要性は同様ですが、まだまだこれからの面も多いといえます。

幼稚園だけではなく、保育園や今後の子ども園も視野に入れながら、幼児教育・保育の現場でどのような特別支援がなされているのか、どのような取り組みが必要となるかを、この論文では取りあげています。

執筆者の一人である私は臨床心理士で、数年前からある幼稚園に定期的に伺って、発達的に気になる子どもたちについてフォローし、現場の先生たちと共に考えていくという仕事をしています。その経験が出発点となり、広く幼児期の特別支援の現状把握と共に、この幼稚園で実際に行われた取り組みを、本論文で紹介しました。実践面については、自閉的な傾向をもつBちゃんを担当した、想像性とバイタリティのある加配教諭が執筆しています。

キーワードは「橋渡し」の働きです。加配教諭は幼稚園生活の様々な場面で、Bちゃんと他児とをつなぐ、橋渡しをしていきます。毎日の生活の中で子ども同士のコミュニケーションがすれ違ったり、思いがお互いにうまく伝わらないことが起こります。加配教諭は、一方の思いを相手に「翻訳」したり「通訳」したりすることを繰り返し、それによって子どもたちの中に、少しずつ間主観的な「共有体験」が生まれていきます。相互理解が深まることで、情緒的な交流の機会が増えますし、それを糧に双方が発達しながらクラスとしてもまとまっていく様子がよく見えてきます。ぜひ、特別支援の実践の様子を手にとって読んでみて下さい。

本タイトルの論文は京都教育大学紀要 120号に掲載されています。

京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/>にも公開されています。

重要

増改築工事に伴い、11月24日(土)～12月15日(土)は休館いたします。必要な資料等は休館までにご利用いただきますようお願いいたします。

なお、右記の休館日程は、諸般の事情により変更になる場合がございます。学内一斉送信メール・図書館ホームページなどの情報をよくご確認いただき、日程の変更等には十分ご注意ください。

●開館日程●

カレンダーの凡例

日付	9:00～21:00
日付	9:00～17:00
日付	休館日
日付	臨時休館日

平成24年 11月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

平成24年 12月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

※11月7日は館内整理のため休館

※11月24日は停電のため臨時休館

※11月26日～12月15日は工事のため臨時休館

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版図書館ホームページ (QRコード)

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/m/mhome.htm>



京教図書館 News No.146(2012年11月号)

発行日:平成24年11月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp